

# 【R5年度】重点目標の取組・概要（小中一貫教育の検討と推進[小中一貫教育推進事業]）

担当課（内線）	学校教育課（5613）	重点目標の方向性	子どもの保育・教育環境の向上
重点目標	子育てしやすい岸和田の実現	行政の役割	データを利活用するなど、子ども一人ひとりにきめ細やかな指導を行い、基礎学力の向上を図る

現状と課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年10月に、「岸和田市小中一貫教育基本方針」を策定。これをふまえ、令和3年度より「岸和田市小中一貫教育推進会議」を発足させ、小中一貫教育の推進に向けての協議を開始。</li> <li>・協議を円滑かつ確実に推進させていくために、小中一貫教育の推進にあたって専門的な見地から助言をいただくための顧問（学識）を招聘。</li> </ul>

R5年度の事業費（内訳）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修報償費 70千円</li> </ul>

課題に対する取組の内容（めざす成果・期間・対象者・手法など）
<p>【中期的(4～5年後)にめざす成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全中学校において、小中一貫教育を実施。</li> <li>・取組みの中心となる「新たな科」のスタート。</li> </ul> <p><u>※これまで小中・連携教育を実施してきたが、生徒指導に重点が置かれ、学習指導の視点があまりなかった。今回は、「新たな科」の教材（地域を学ぶ素材など）を作成し、学習指導面での連携を図る仕組み（学びをつなげる）を導入する。「総合学習」の時間を活用していく。</u></p> <p>【成果に向けての各年度の進め方】</p> <p>第一期（令和3年度～令和5年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「小中連携教育」の整理と、他府県の先進事例の整理（済）</li> <li>・小中一貫教育推進モデル校区の設置（済）</li> <li>・「新たな科」の実施に向けた準備（「新たな科」のグランドデザイン）</li> <li>・モデル校区における先行全面実施。</li> <li>・中学校区ごとの「〇〇中学校区小中一貫教育推進会議」の発足。</li> </ul> <p>第二期（令和6年度～令和8年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第一期における各中学校区の取組みと、モデル校区における取組みをふまえ、全面実施に向けた小中一貫教育計画を各中学校区で立案。順次実施。</li> <li>・「新たな科」の教材作成及び指導計画例の作成。</li> </ul> <p>【R5年度の取組内容（期間・対象者・手法など）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モデル校区による先行全面実施。</li> <li>・中学校区ごとに、学習規律や生徒指導等の指導方法を共有し、児童生徒の実態をふまえた「めざす子ども像」を検討。</li> </ul>

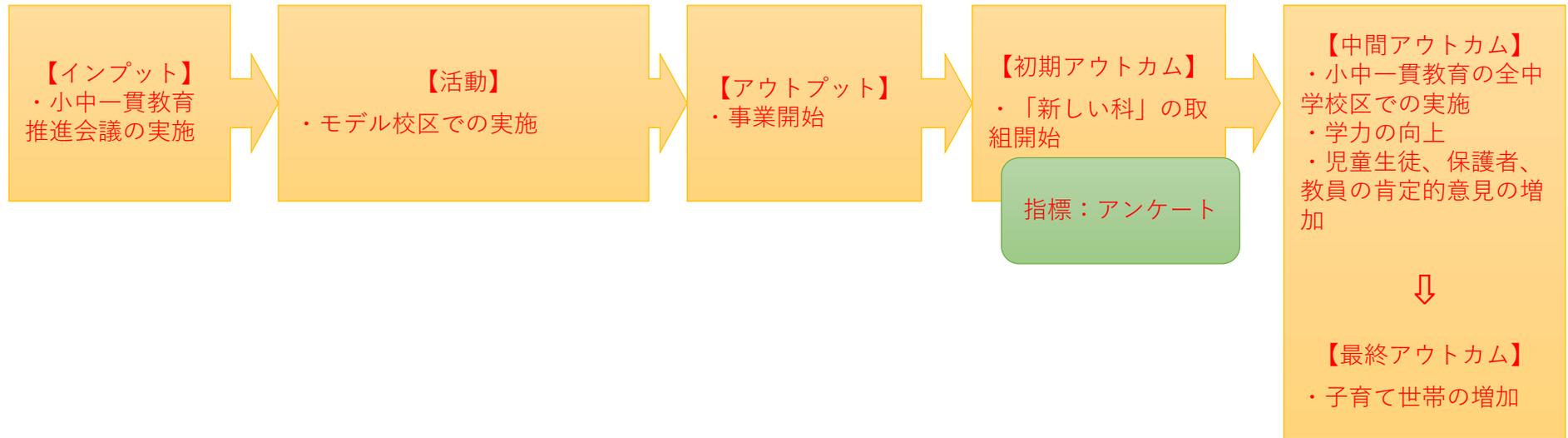
R6年度以降の想定事業費（ランニング経費）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修報償費 70千円</li> </ul>

取組の進捗・成果を測る指標
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫教育を具体的に取り組んでいる実施校区数 0校区（2022）→（1校区（2023））→11校区（2024）</li> </ul>

成果・指標が未達成の場合の取扱い
<ul style="list-style-type: none"> <li>・未達成の可能性はない。</li> </ul>

# 【R5年度】重点目標の取組・ロジックモデル（小中一貫教育の検討と推進[小中一貫教育推進事業]）

## ロジックモデル【事業立案時点】



その他（財源、他団体の状況、行政サービスとしての適正性について など）

# 【R5年度】重点目標の取組・評価シート①（小中一貫教育の検討と推進）

担当課（内線）	学校教育課（5613）	重点目標の方向性	子どもの保育・教育環境の向上
重点目標	子育てしやすい岸和田の実現	行政の役割	データを利活用するなど、子ども一人ひとりにきめ細やかな指導を行い、基礎学力の向上を図る

## ■ 中期的にめざす成果に対する達成度



- 全中学校において、小中一貫教育を実施。
- 取組みの中心となる「新たな科」のスタート。

## ■ R5年度において実施・実現できたこと

- モデル校区における先行実施を行い、小中一貫教育を円滑に進めていくための方法や内容を研究し、成果と課題を明らかにすることができた。
- 令和6年度からの全面実施に向け、各中学区で小中一貫教育推進会議を設置し、小中一貫教育推進計画を策定した。各校区の実態を踏まえた「めざす子ども像」を設定するとともに、年間計画、組織体制などを設定した。
- 岸和田市小中一貫教育推進会議を実施し、各校区の進捗確認を行うとともに、円滑な全面実施に向けて協議を行った。
- 市内全教職員が小中一貫教育の趣旨や目的を理解するため、オンデマンドにて説明動画を配信した。

## ■ R5年度における達成度（当初の実施予定に対する達成度）



- 第一期（令和3年度～令和5年度）
- 「小中連携教育」の整理と、他府県の先進事例の整理（済）
  - 小中一貫教育推進モデル校区の設置（済）
  - 「新たな科」の実施に向けた準備（「新たな科」のグランドデザイン）
  - モデル校区における先行全面实施。
  - 中学校区ごとの「〇〇中学校区小中一貫教育推進会議」の発足。

## ■ 主な「取組の進捗・成果を測る指標」の状況

測定有無	指標名	単位	基準値（年次）	目標値（年次）	R5年度実績値
○	小中一貫教育を具体的に取り組んでいる実施校区数	校区	0 (R3)	11 (R6)	1

# 【R5年度】重点目標の取組・評価シート②（小中一貫教育の検討と推進）

## ■ R5年度において実施・実現できなかったこと

- ・ 「新たな科」実施に向けて、教材の作成。
- ・ 教材作成に向けて、会議体の設置。

## ■ 課題分析

- ・ 会議体の設置から教材の作成までを円滑に進めるため、令和5年度は先行して実施している自治体の好事例や教材・資料集めを行った。

## ■ ロジックモデルの振り返り

- ・ 教育委員会内での十分な検討。グランドデザインをより具体化していくことが必要。

## ■ 次年度以降の予定・改善内容

- ・ 「新たな科」実施に向けて、教材の作成。
- ・ 教材作成に向けて、会議体の設置。